

野 麦 峠 の 館 解 体 工 事

図 面 リ ス ト					
図 番	図 面 名 称	縮 尺	図 番	図 面 名 称	縮 尺
0 1	特記仕様書	—	1 1	参考図 1（資料館棟 仕上表）	—
0 2	解体配置図・案内図	S=1/500	1 2	参考図 2（レストラン棟 仕上表）	—
0 3	解体平面図	S=1/150	1 3	参考図 3（断面図・断面詳細図）	S=1/30・1/150
0 4	解体立面図	S=1/150	1 4	参考図 4（資料館棟 基礎伏図 1）	S=1/100
0 5	完成配置図	S=1/500	1 5	参考図 5（資料館棟 基礎伏図 2）	S=1/100
0 6	構内配電線路図（撤去）	S=1/600	1 6	参考図 6（資料館棟 基礎伏図 3）	S=1/100
0 7	構内配電線路図（改修）	S=1/600	1 7	参考図 7（資料館棟 梁伏図）	S=1/100
0 8	自動制御盤 撤去配置図	S=1/500	1 8	参考図 8（レストラン棟 基礎伏図）	S=1/30・1/100
0 9	自動制御盤 改修図	S=1/500	1 9	参考図 9（レストラン棟 梁・小屋伏図）	S=1/100
1 0	自動制御盤 回路図	S=1/10・1/30			

※図面の縮尺は A 2 版サイズによるものとする。
※図番 11～19 は参考図とし当初設計図面を示す。

設計監理：てらい建築設計

特 記 仕 様 書																													
工 事 概 要		⑧ 規格・材料選定	設計図書にＪＩＳ（日本工業規格）などのマーク表示品と指定された材料及び機器は、それぞれのマーク表示のあるもの又は規格証明書の添付されたものとする。設計図書に記載のある品番等は全て参考品番であり、本工事に使用する材料の採用に際しては、これらと同等のものとする。同等品の採用に際しては監督員の承諾を受けること。	2. 仮 設 工 事	① 監督員事務所 ・ m程度 種 別 ・ 1号 ・ 2号 ・ 3号 ・ 4号 ・ 5号 備 品 （ ） 工事用電力 ○ 利用出来る（ ○有償 ・無償 ） ・ 利用出来ない 工事用水 ○ 利用出来る（ ○有償 ・無償 ） ・ 利用出来ない ※事前に施設管理者に了解を得ること。 ・ 波形鉄板 H=1.80m ○ 成形鋼板 H=3.0m、2.0m ・ シートゲート ・ ガードフェンス H= m ・ バリケード ・ 万能鋼板 H=2.0m 施設管理者と協議の上、施設利用者等の安全を最優先に計画すること。	4. アスベスト除去	① 7m ² 未満含有材の除去 ・ 下記建材は分析調査の結果よりアスベスト含有建材として適切に処理を行うこと。 1、吹付仕上材の地下調整材：外壁、軒天（資料館棟） レベル3 検出されたアスベストの種類：クリソタイル 推定質量分率 : 0.1 ～ 5%	建築物の解体等の作業における石綿対策、石綿障害予防規則（厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署）、及び「石綿障害予防規則の概要」補足説明（岐阜労働局）、労働安全衛生法、大気汚染防止法等関係法令に則って工事すること。																					
工事名称	野麦峠の館解体工事																												
工事場所	高山市高根町野麦 地内																												
区域区分	都市計画：区域外 用途地域：指定なし																												
構造、規模	資料館棟 :SRC造 3階建て 延べ面積：780.96㎡ レストラン棟：木造 平屋建て 延べ面積：300.06㎡	⑨ 工事着手前協議	1）本工事の受注者は、契約後1～2週間以内に設計書内容等について、監督員と工事着手前協議を行うこと。 2）協議に当たっては、別に定める「施工打ち合わせ記録簿」に協議事項を記入し、打ち合わせに持参すること。なお、協議日の設定については、受注者側が事前に監督員と連絡をとり設定しておくこと。 3）協議に当たって、発注者側は監督員及び担当係長、受注者側は現場代理人及び主任技術者が出席するものとする。 4）協議時、「施工打ち合わせ記録簿」の回答（その他）欄は監督員が記入し、最後に確認を行い監督員・担当係長又は課長の確認印を押し、写しを現場代理人（主任技術者）が受け取ること。	② 工事用電力・用水	③ 仮囲い・工事区画	④ 工事用進入路	② 施工調査	・ 下記建材は分析調査の結果よりアスベスト含有建材として適切に処理を行うこと。 1、吹付仕上材の地下調整材：外壁、軒天（資料館棟） レベル3 検出されたアスベストの種類：クリソタイル 推定質量分率 : 0.1 ～ 5%	アスベスト粉じん温度測定（測定場所、点数は次のとおりとする。） ・測定時期：処理作業中、処理作業後、処理作業後養生撤去後一週間の期間とする。 ・測定場所：東西南北の4方向各1点を上記の期間に行い計12点とする。 ※最終的な測定時期等は監督員と協議により決定とする。																				
別途工事	無し																												
1. 一般共通事項	本工事の仕様は現場説明事項（設計説明書を含む以下現場説明書と言う。）、特記仕様書による以外は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（令和7年版）〔以下「改標仕」〕建築・電気・機械、建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）〔以下「解共仕」〕による。 設計図書に記載なき場合でも、意匠、構造、設備の機能の上から必要だと認められるものは、監督員の指示により請負金額の範囲内において施工すること。又、図中明記なき箇所及び疑わしき箇所がある場合は監督員と協議の上承認を得た後に施工すること。 特記事項は◎印の付いたものを適用する。 ◎印のない場合は※印の付いたものを適用する。 ◎印※印のある場合は共に適用する。									⑩ 実施状況の提出について	受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は地域社会への貢献として評価出来る項目として、工事完了までに所定の様式により提出することが出来る。	① 事前措置	② 基礎等の解体	③ 解体後の整地	④ 低騒音型建設機械	⑤ その他 非飛散性石綿の建材	特別産業廃棄物の調査	解体時の注意事項	・ 断熱材は下記による。 ・ 資料館棟の土間面にポリスチレンフォームt50 ・ 資料館棟の外壁面にポリスチレンフォームt25 ・ 資料館棟のスラブ面（屋上床）にポリスチレンフォームt30 ・ 資料館棟（展示場）の天井裏インサレーション吹付t15 ・ レストラン棟の土間面にポリスチレンボードt50 ・ レストラン棟の外壁面（腰部分）にポリスチレンボードt25 ・ レストラン棟の外壁面にグラスウールt100 ・ レストラン棟の屋根面にポリスチレンボードt25	③ 施工計画	④ 除去	・ アスベスト含有建材の除去に従事する作業者は、石綿則に基づく特別の教育を受けた者とする。 ・ 除去作業者は、一般健康診断、石綿健康診断及びじん肺健康診断を受診した者とし、肺機能に異常がない者とする。 ・ 作業レベル（ ・ レベル1 ・ レベル2 ○ レベル3 ） ・ 隔離（ ・ 負圧隔離養生 ○ 隔離養生（負圧不要） ）							
① 適 用 範 囲																							⑪ 電子メールの利用	「電子メールを活用した情報共有における運用指針」による他、工事着手前協議時に監督員と協議の上、決定するものとする。	② 基礎等の解体	○ 基礎解体 ○ 土間解体 ・ 現況のまま ・ その他（床モルタル一部撤去） ・ 砕石敷均し ○ 現況地盤整地 ・ その他（砂利敷） 詳細等については監督員と協議にて決定とする。	③ 解体後の整地	・ 砕石敷均し ○ 現況地盤整地 ・ その他（砂利敷） 詳細等については監督員と協議にて決定とする。	④ 低騒音型建設機械
② 設計図書順位	1）現場説明書（添付された場合に限る。） 2）特記仕様書 3）設 計 図 4）共通仕様書 5）共通規格及びこれに準ずる規格	⑫ 重点監督対象工事	当該工事が高山市重点監督対象工事となった場合は、その取り扱いによるものとする	② 基礎等の解体	○ 基礎解体 ○ 土間解体 ・ 現況のまま ・ その他（床モルタル一部撤去） ・ 砕石敷均し ○ 現況地盤整地 ・ その他（砂利敷） 詳細等については監督員と協議にて決定とする。	③ 解体後の整地	・ 砕石敷均し ○ 現況地盤整地 ・ その他（砂利敷） 詳細等については監督員と協議にて決定とする。	④ 低騒音型建設機械	建築物の解体にあたっては、低騒音型建設機械ならびに、排気ガス対策型建設機械の使用に努めること。														⑤ その他 非飛散性石綿含有が疑わしき建材については、監督員と協議のうえ適正に除去・処分すること。	特別産業廃棄物の調査	解体時の注意事項	・ 断熱材は下記による。 ・ 資料館棟の土間面にポリスチレンフォームt50 ・ 資料館棟の外壁面にポリスチレンフォームt25 ・ 資料館棟のスラブ面（屋上床）にポリスチレンフォームt30 ・ 資料館棟（展示場）の天井裏インサレーション吹付t15 ・ レストラン棟の土間面にポリスチレンボードt50 ・ レストラン棟の外壁面（腰部分）にポリスチレンボードt25 ・ レストラン棟の外壁面にグラスウールt100 ・ レストラン棟の屋根面にポリスチレンボードt25	③ 施工計画	④ 除去	・ アスベスト含有建材の除去に従事する作業者は、石綿則に基づく特別の教育を受けた者とする。 ・ 除去作業者は、一般健康診断、石綿健康診断及びじん肺健康診断を受診した者とし、肺機能に異常がない者とする。 ・ 作業レベル（ ・ レベル1 ・ レベル2 ○ レベル3 ） ・ 隔離（ ・ 負圧隔離養生 ○ 隔離養生（負圧不要） ）
③ 質疑及び軽微な変更	図面、仕様書の内容に相違のある場合、明記のない場合は全て監督員と協議し、その指示により行う。 軽微なものについては、請負金額は増減しないことを原則とする。	⑬ 諸官庁手続き	工事に必要な申請、届出等の諸手続き及びその費用は請負者にて行うこと。	② 基礎等の解体	○ 基礎解体 ○ 土間解体 ・ 現況のまま ・ その他（床モルタル一部撤去） ・ 砕石敷均し ○ 現況地盤整地 ・ その他（砂利敷） 詳細等については監督員と協議にて決定とする。	③ 解体後の整地	・ 砕石敷均し ○ 現況地盤整地 ・ その他（砂利敷） 詳細等については監督員と協議にて決定とする。	④ 低騒音型建設機械	建築物の解体にあたっては、低騒音型建設機械ならびに、排気ガス対策型建設機械の使用に努めること。														⑤ その他 非飛散性石綿含有が疑わしき建材については、監督員と協議のうえ適正に除去・処分すること。	特別産業廃棄物の調査	解体時の注意事項	・ 断熱材は下記による。 ・ 資料館棟の土間面にポリスチレンフォームt50 ・ 資料館棟の外壁面にポリスチレンフォームt25 ・ 資料館棟のスラブ面（屋上床）にポリスチレンフォームt30 ・ 資料館棟（展示場）の天井裏インサレーション吹付t15 ・ レストラン棟の土間面にポリスチレンボードt50 ・ レストラン棟の外壁面（腰部分）にポリスチレンボードt25 ・ レストラン棟の外壁面にグラスウールt100 ・ レストラン棟の屋根面にポリスチレンボードt25	③ 施工計画	④ 除去	・ アスベスト含有建材の除去に従事する作業者は、石綿則に基づく特別の教育を受けた者とする。 ・ 除去作業者は、一般健康診断、石綿健康診断及びじん肺健康診断を受診した者とし、肺機能に異常がない者とする。 ・ 作業レベル（ ・ レベル1 ・ レベル2 ○ レベル3 ） ・ 隔離（ ・ 負圧隔離養生 ○ 隔離養生（負圧不要） ）
④ 提出書類	1）A、工事着工時及び工事中 全体施工計画書、現場代理人届、同経歴書、主任技術者届、同経歴書有資格者名簿、材料発注予定表、下請人名簿、工程表、工事費内訳書、火災保険証書、施工図、工作図、その他監督員の指示による。 B、工事完成時 完成届、完成写真、竣工図（原図・製本・CADデータ）、鍵・機器等引渡書、その他材料試験結果、品質性能証明書、各保証書等、その他工事関係書類	⑭ 発生材の処理	再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書 分別収集 再資源化施設への搬出	② 基礎等の解体	○ 基礎解体 ○ 土間解体 ・ 現況のまま ・ その他（床モルタル一部撤去） ・ 砕石敷均し ○ 現況地盤整地 ・ その他（砂利敷） 詳細等については監督員と協議にて決定とする。	③ 解体後の整地	・ 砕石敷均し ○ 現況地盤整地 ・ その他（砂利敷） 詳細等については監督員と協議にて決定とする。	④ 低騒音型建設機械	建築物の解体にあたっては、低騒音型建設機械ならびに、排気ガス対策型建設機械の使用に努めること。	⑤ その他 非飛散性石綿含有が疑わしき建材については、監督員と協議のうえ適正に除去・処分すること。	特別産業廃棄物の調査	解体時の注意事項	・ 断熱材は下記による。 ・ 資料館棟の土間面にポリスチレンフォームt50 ・ 資料館棟の外壁面にポリスチレンフォームt25 ・ 資料館棟のスラブ面（屋上床）にポリスチレンフォームt30 ・ 資料館棟（展示場）の天井裏インサレーション吹付t15 ・ レストラン棟の土間面にポリスチレンボードt50 ・ レストラン棟の外壁面（腰部分）にポリスチレンボードt25 ・ レストラン棟の外壁面にグラスウールt100 ・ レストラン棟の屋根面にポリスチレンボードt25	③ 施工計画	④ 除去	・ アスベスト含有建材の除去に従事する作業者は、石綿則に基づく特別の教育を受けた者とする。 ・ 除去作業者は、一般健康診断、石綿健康診断及びじん肺健康診断を受診した者とし、肺機能に異常がない者とする。 ・ 作業レベル（ ・ レベル1 ・ レベル2 ○ レベル3 ） ・ 隔離（ ・ 負圧隔離養生 ○ 隔離養生（負圧不要） ）													
※. 工事書類の簡素化について	実施にあつては「工事書類簡素化要領」（技191号平成22年6月30日改正）に基づいて実施すること。 書類の省略については監督員と協議すること。	⑮ ディーゼルエンジン車両の適正燃料の使用について	ディーゼルエンジン車両の適正燃料の使用について	② 基礎等の解体	○ 基礎解体 ○ 土間解体 ・ 現況のまま ・ その他（床モルタル一部撤去） ・ 砕石敷均し ○ 現況地盤整地 ・ その他（砂利敷） 詳細等については監督員と協議にて決定とする。	③ 解体後の整地	・ 砕石敷均し ○ 現況地盤整地 ・ その他（砂利敷） 詳細等については監督員と協議にて決定とする。	④ 低騒音型建設機械	建築物の解体にあたっては、低騒音型建設機械ならびに、排気ガス対策型建設機械の使用に努めること。	⑤ その他 非飛散性石綿含有が疑わしき建材については、監督員と協議のうえ適正に除去・処分すること。	特別産業廃棄物の調査	解体時の注意事項	・ 断熱材は下記による。 ・ 資料館棟の土間面にポリスチレンフォームt50 ・ 資料館棟の外壁面にポリスチレンフォームt25 ・ 資料館棟のスラブ面（屋上床）にポリスチレンフォームt30 ・ 資料館棟（展示場）の天井裏インサレーション吹付t15 ・ レストラン棟の土間面にポリスチレンボードt50 ・ レストラン棟の外壁面（腰部分）にポリスチレンボードt25 ・ レストラン棟の外壁面にグラスウールt100 ・ レストラン棟の屋根面にポリスチレンボードt25	③ 施工計画	④ 除去	・ アスベスト含有建材の除去に従事する作業者は、石綿則に基づく特別の教育を受けた者とする。 ・ 除去作業者は、一般健康診断、石綿健康診断及びじん肺健康診断を受診した者とし、肺機能に異常がない者とする。 ・ 作業レベル（ ・ レベル1 ・ レベル2 ○ レベル3 ） ・ 隔離（ ・ 負圧隔離養生 ○ 隔離養生（負圧不要） ）													
⑤ 工事現場管理	工事現場の安全衛生管理、工事用電力の保全、火災防止は、関係法令に従い適切な処置をすること。	⑯ 工事実績情報の登録	請負業者は、工事請負金額500万円以上の工事については工事実績情報の実績情報（CORINS）に契約後10日以内に登録すること。 下請業者の選定に当たっては高山市入札参加資格停止の処置がされていないこと。	② 基礎等の解体	○ 基礎解体 ○ 土間解体 ・ 現況のまま ・ その他（床モルタル一部撤去） ・ 砕石敷均し ○ 現況地盤整地 ・ その他（砂利敷） 詳細等については監督員と協議にて決定とする。	③ 解体後の整地	・ 砕石敷均し ○ 現況地盤整地 ・ その他（砂利敷） 詳細等については監督員と協議にて決定とする。	④ 低騒音型建設機械	建築物の解体にあたっては、低騒音型建設機械ならびに、排気ガス対策型建設機械の使用に努めること。	⑤ その他 非飛散性石綿含有が疑わしき建材については、監督員と協議のうえ適正に除去・処分すること。	特別産業廃棄物の調査	解体時の注意事項	・ 断熱材は下記による。 ・ 資料館棟の土間面にポリスチレンフォームt50 ・ 資料館棟の外壁面にポリスチレンフォームt25 ・ 資料館棟のスラブ面（屋上床）にポリスチレンフォームt30 ・ 資料館棟（展示場）の天井裏インサレーション吹付t15 ・ レストラン棟の土間面にポリスチレンボードt50 ・ レストラン棟の外壁面（腰部分）にポリスチレンボードt25 ・ レストラン棟の外壁面にグラスウールt100 ・ レストラン棟の屋根面にポリスチレンボードt25	③ 施工計画	④ 除去	・ アスベスト含有建材の除去に従事する作業者は、石綿則に基づく特別の教育を受けた者とする。 ・ 除去作業者は、一般健康診断、石綿健康診断及びじん肺健康診断を受診した者とし、肺機能に異常がない者とする。 ・ 作業レベル（ ・ レベル1 ・ レベル2 ○ レベル3 ） ・ 隔離（ ・ 負圧隔離養生 ○ 隔離養生（負圧不要） ）													
⑥ 工事公害	工事搬入撤去による公共道路の清掃、保全、修繕は施工者に於いて行うこと。 工事による周辺の汚損は直ちに修すること。尚、工事公害の解決は施工者に於いて行うこと。	⑰ 登録・保険	建設工事保険の加入を行う。（完成期限後15日まで）加入を証する書面の写しを工事着手後14日以内に提出すること。	② 基礎等の解体	○ 基礎解体 ○ 土間解体 ・ 現況のまま ・ その他（床モルタル一部撤去） ・ 砕石敷均し ○ 現況地盤整地 ・ その他（砂利敷） 詳細等については監督員と協議にて決定とする。	③ 解体後の整地	・ 砕石敷均し ○ 現況地盤整地 ・ その他（砂利敷） 詳細等については監督員と協議にて決定とする。	④ 低騒音型建設機械	建築物の解体にあたっては、低騒音型建設機械ならびに、排気ガス対策型建設機械の使用に努めること。	⑤ その他 非飛散性石綿含有が疑わしき建材については、監督員と協議のうえ適正に除去・処分すること。	特別産業廃棄物の調査	解体時の注意事項	・ 断熱材は下記による。 ・ 資料館棟の土間面にポリスチレンフォームt50 ・ 資料館棟の外壁面にポリスチレンフォームt25 ・ 資料館棟のスラブ面（屋上床）にポリスチレンフォームt30 ・ 資料館棟（展示場）の天井裏インサレーション吹付t15 ・ レストラン棟の土間面にポリスチレンボードt50 ・ レストラン棟の外壁面（腰部分）にポリスチレンボードt25 ・ レストラン棟の外壁面にグラスウールt100 ・ レストラン棟の屋根面にポリスチレンボードt25	③ 施工計画	④ 除去	・ アスベスト含有建材の除去に従事する作業者は、石綿則に基づく特別の教育を受けた者とする。 ・ 除去作業者は、一般健康診断、石綿健康診断及びじん肺健康診断を受診した者とし、肺機能に異常がない者とする。 ・ 作業レベル（ ・ レベル1 ・ レベル2 ○ レベル3 ） ・ 隔離（ ・ 負圧隔離養生 ○ 隔離養生（負圧不要） ）													
⑦ 下請契約及び使用資材について	本工事において、下請契約を締結する場合には、当該契約の相手側を高山市内に本店（建設業法（昭和24年法律第100号）に規定する営業所を含む。）を有する者の中から選定するよう努めること。 本工事において、工事材料に係る納入契約をする場合には、当該契約の相手には、高山市内に本店を有する者の中から選定するよう努めると共に、調達する工事材料は高山市内での生産品（高山市内での生産のない物にあつては、岐阜県産）を選定するよう努めること。	⑱ 電気保安技術者		② 基礎等の解体	○ 基礎解体 ○ 土間解体 ・ 現況のまま ・ その他（床モルタル一部撤去） ・ 砕石敷均し ○ 現況地盤整地 ・ その他（砂利敷） 詳細等については監督員と協議にて決定とする。	③ 解体後の整地	・ 砕石敷均し ○ 現況地盤整地 ・ その他（砂利敷） 詳細等については監督員と協議にて決定とする。	④ 低騒音型建設機械	建築物の解体にあたっては、低騒音型建設機械ならびに、排気ガス対策型建設機械の使用に努めること。	⑤ その他 非飛散性石綿含有が疑わしき建材については、監督員と協議のうえ適正に除去・処分すること。	特別産業廃棄物の調査	解体時の注意事項	・ 断熱材は下記による。 ・ 資料館棟の土間面にポリスチレンフォームt50 ・ 資料館棟の外壁面にポリスチレンフォームt25 ・ 資料館棟のスラブ面（屋上床）にポリスチレンフォームt30 ・ 資料館棟（展示場）の天井裏インサレーション吹付t15 ・ レストラン棟の土間面にポリスチレンボードt50 ・ レストラン棟の外壁面（腰部分）にポリスチレンボードt25 ・ レストラン棟の外壁面にグラスウールt100 ・ レストラン棟の屋根面にポリスチレンボードt25	③ 施工計画	④ 除去	・ アスベスト含有建材の除去に従事する作業者は、石綿則に基づく特別の教育を受けた者とする。 ・ 除去作業者は、一般健康診断、石綿健康診断及びじん肺健康診断を受診した者とし、肺機能に異常がない者とする。 ・ 作業レベル（ ・ レベル1 ・ レベル2 ○ レベル3 ） ・ 隔離（ ・ 負圧隔離養生 ○ 隔離養生（負圧不要） ）													

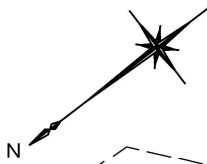
工 事 名	野麦峠の館解体工事		
図 名	特記仕様書		
縮 尺	—	番号	19枚の内 01号
設 計 年 月 日	令和 8年 3月		
設 計	てらい建築設計 二級建築士 第7424号 寺井 政志		
高 山 市			



コンクリート擬木看板2



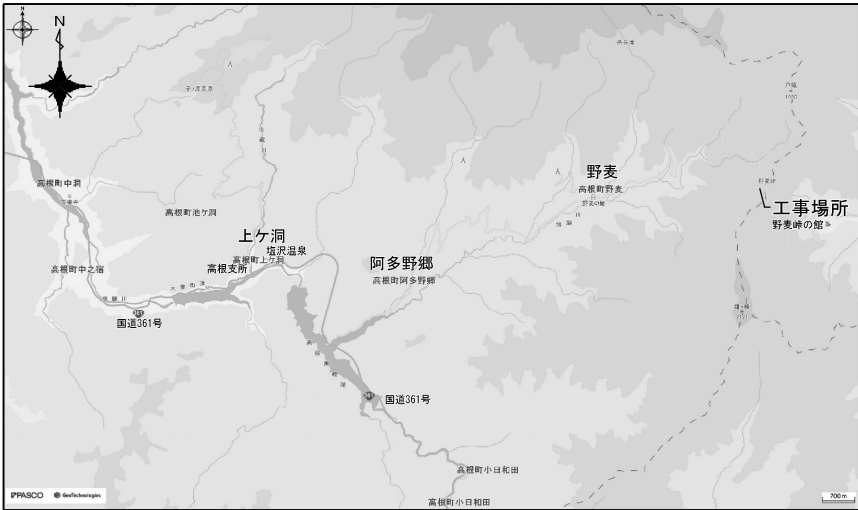
コンクリート擬木看板1



既設中電柱



既設中電柱



案内図



仮門予定付近と第二駐車場



第一駐車場と東屋



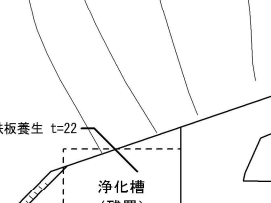
立木及び笹やぶ (資料館棟 東面)



石階段及び玄関ポーチ付近



浄化槽



浄化槽 (残置)



笹やぶ (北面)



立木及び笹やぶ (西面)



立木及び笹やぶ (レストラン棟付近)



立木及び笹やぶ (資料館棟 西面)



屋上 (資料館棟)



外部階段 (資料館棟)

仮門・クロスゲート

仮囲い：成形鋼板 H=3.0m

アスファルトカッター

アスファルト舗装撤去

立木伐根及び笹やぶ除去

野麦峠の館

レストラン棟 (解体)

資料館棟 (解体)

立木伐根及び笹やぶ除去

外灯 (残置)

説明看板 (残置)

第一駐車場

公共トイレ (残置)

飾り岩 (移設)

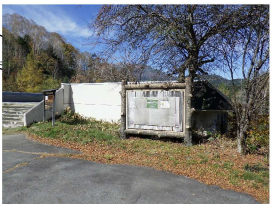
※移設場所は協議による



外 灯



お助け小屋



説明看板



貯水槽



飾り石

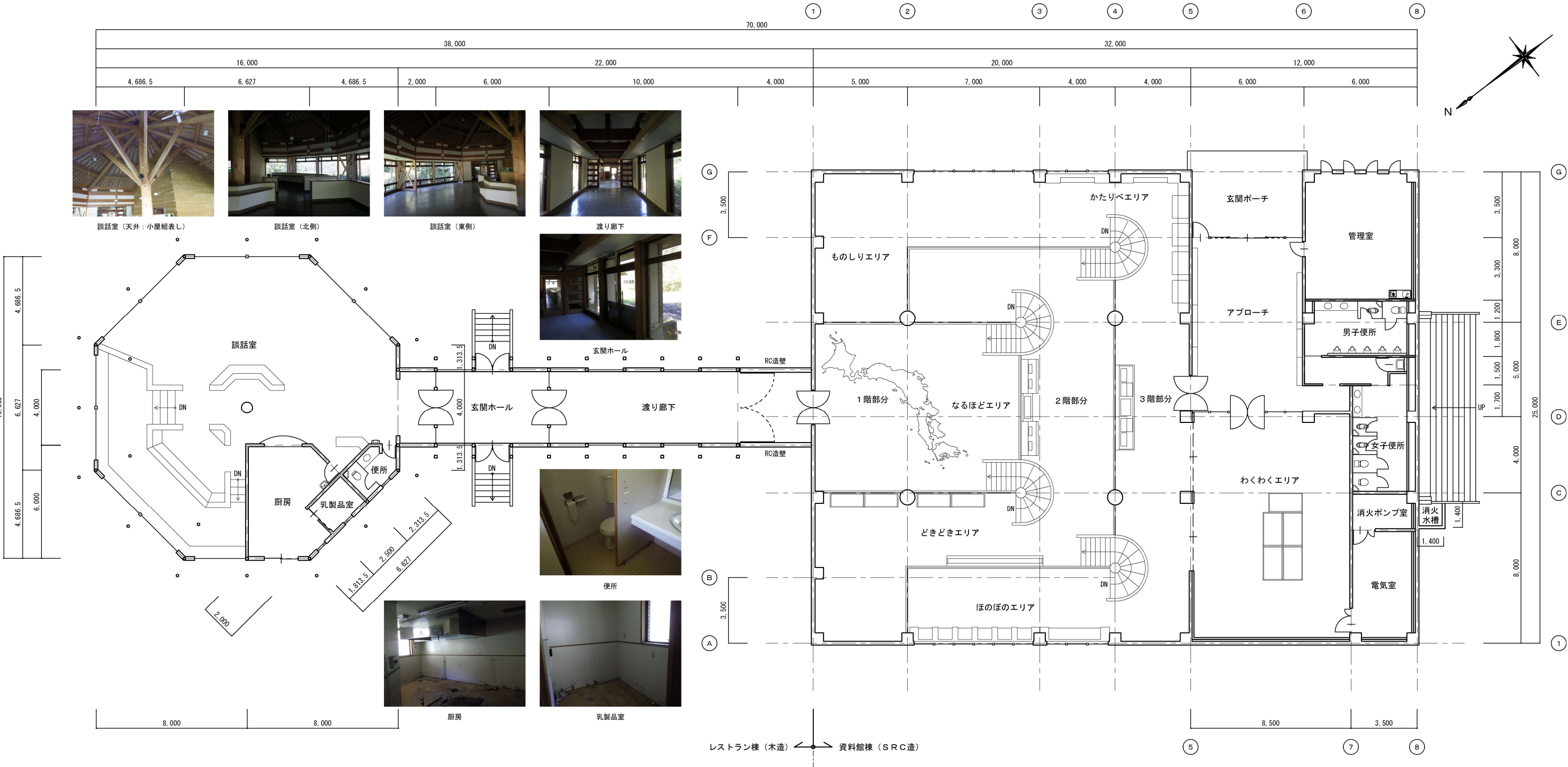


公共トイレ

- ・・・解体建築物
- ・・・アスファルト舗装撤去
- ・・・立木伐根 (φ200 H=7.0m 20本 φ150 H=5.0m 30本) 及び笹やぶ除去
- ・・・外部足場 (手摺先くさび足場+防音シート)
- ・・・成形鋼板 (南: H=2.0m 東: H=3.0m)
- ・・・クロスゲート (W=6.0m H=1.2m)

現況配置図 S=1:500

工事名	野麦峠の館解体工事		
図 名	解体配置図・案内図		
縮 尺	1/500	番号	19枚の内 02号
設 計 年月日	令和 8年 3月		
設 計	てらい建築設計 二級建築士 第7424号 寺井 政志		
原設計図 【A2】	高 山 市		



3階階段（2階～3階間）



1階（なるほどエリア）



3階（ほのほのエリア）・2階（ドキドキエリア）



3階（奥にかたりベエリア）



わくわくエリア



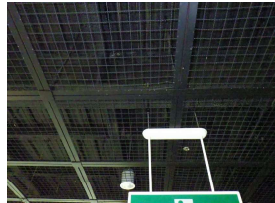
管理室



アプローチ



玄関ポーチ



ネット張り天井（デッキ表し）



階段（1階～2階間）



3階（ものしりエリア）・2階（東面）



3階（ものしりエリアよりの風景）



消火ポンプ室



電気室



女子便所



男子便所

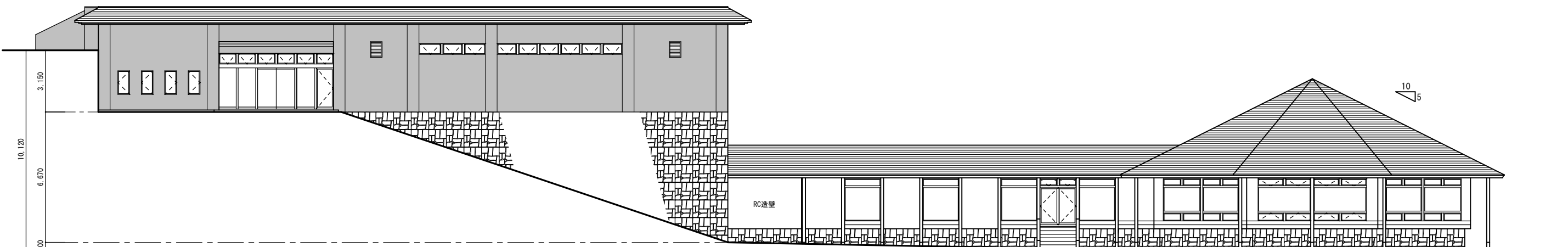
解体平面図 S=1 : 150

工 事 名	野 麦 峠 の 館 解 体 工 事		
図 名	解 体 平 面 図		
縮 尺	1/150	番 号	19枚 の 内 03号
設 計 年 月 日	令 和 8 年 3 月		
設 計	て ら い 建 築 設 計 二 級 建 築 士 第 7424 号 寺 井 政 志		
高 山 市			

原設計図
【A2】

資料館棟（SRC造） レストラン棟（木造）

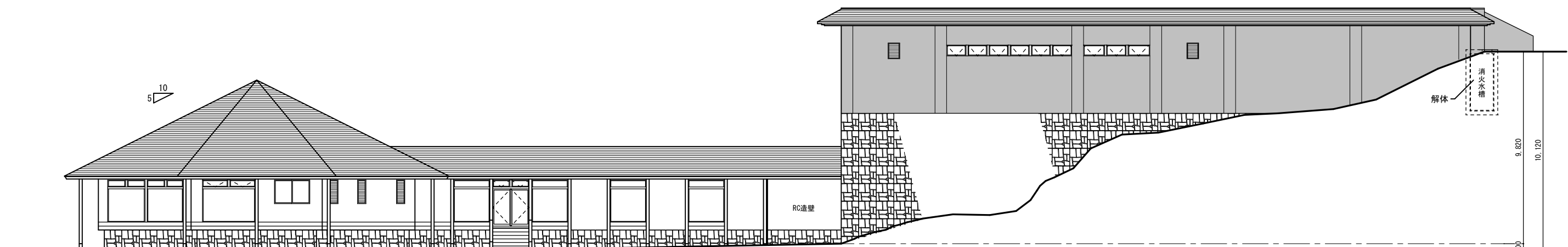
10
6.5



現況東立面図 S=1 : 150

レストラン棟（木造） 資料館棟（SRC造）

10
6.5



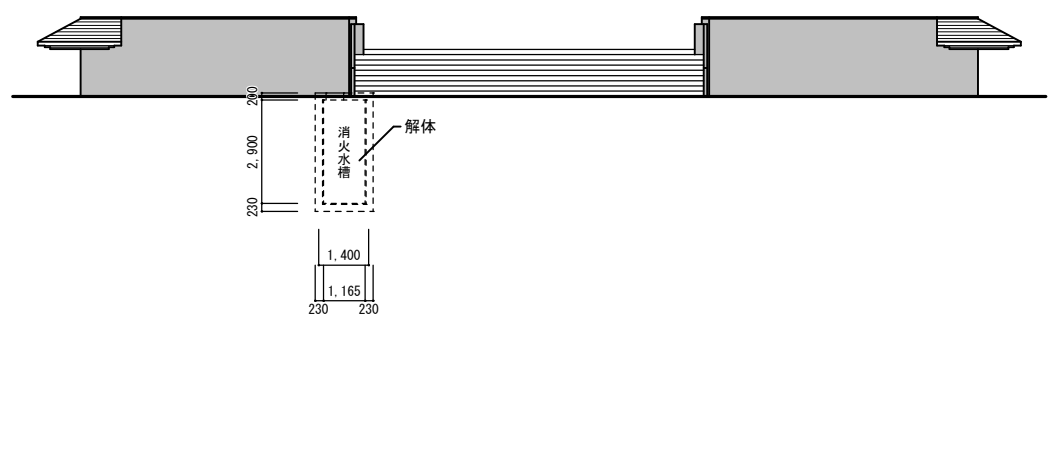
現況西立面図 S=1 : 150

10
6.5



現況北立面図 S=1 : 150

10
6.5



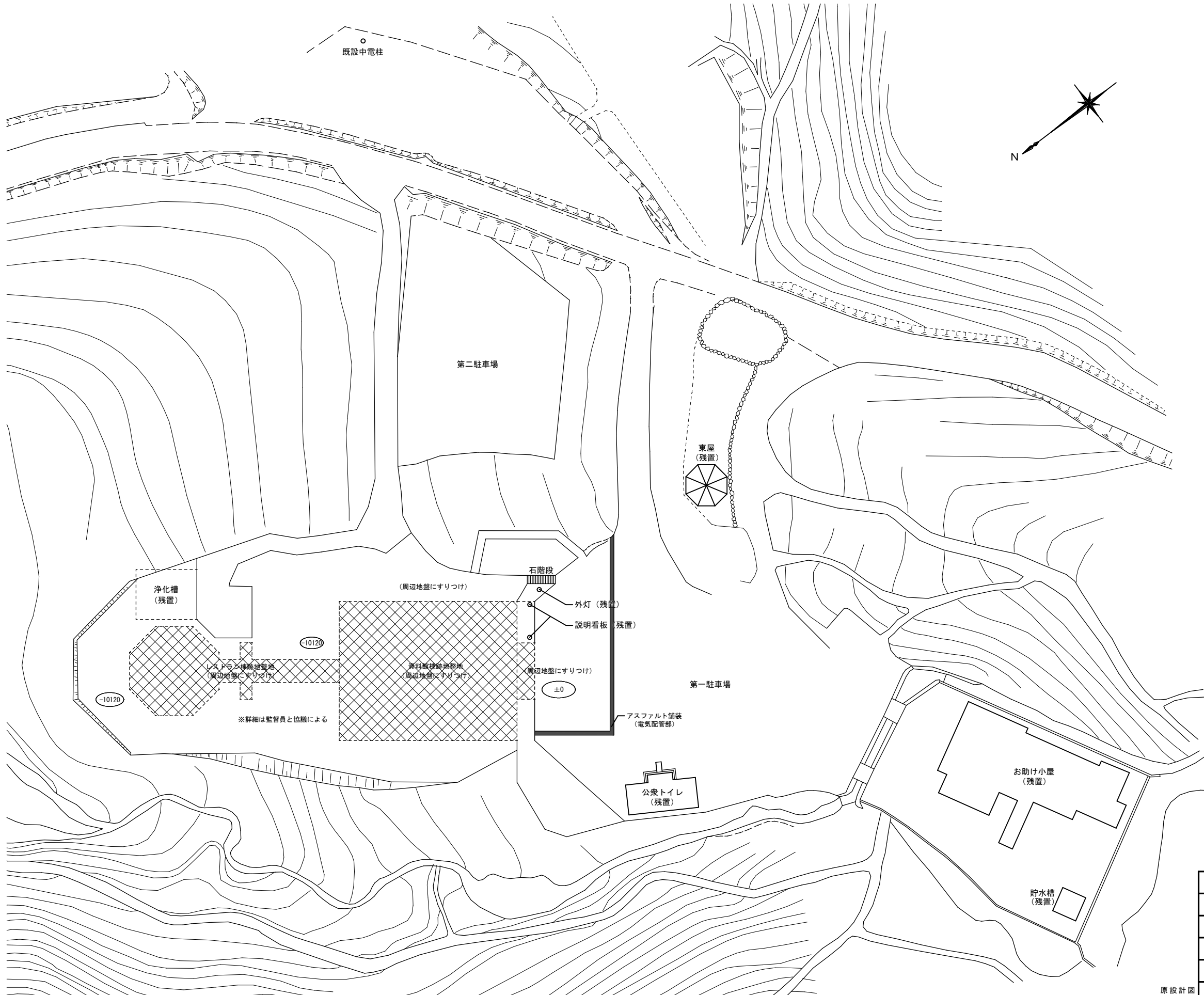
現況南立面図 S=1 : 150

— 凡例 —

分析調査結果によるアスベスト含有建材
吹付仕上材の下地調整材：レベル3
（資料館棟の外壁及び軒天部）

工 事 名	野麦峠の館解体工事		
図 名	解体立面図		
縮 尺	1/150	番 号	19枚の内 04号
設 計 年 月 日	令和 8年 3月		
設 計	二級建築士 第7424号 てらい建築設計 寺井 政志		
高 山 市			

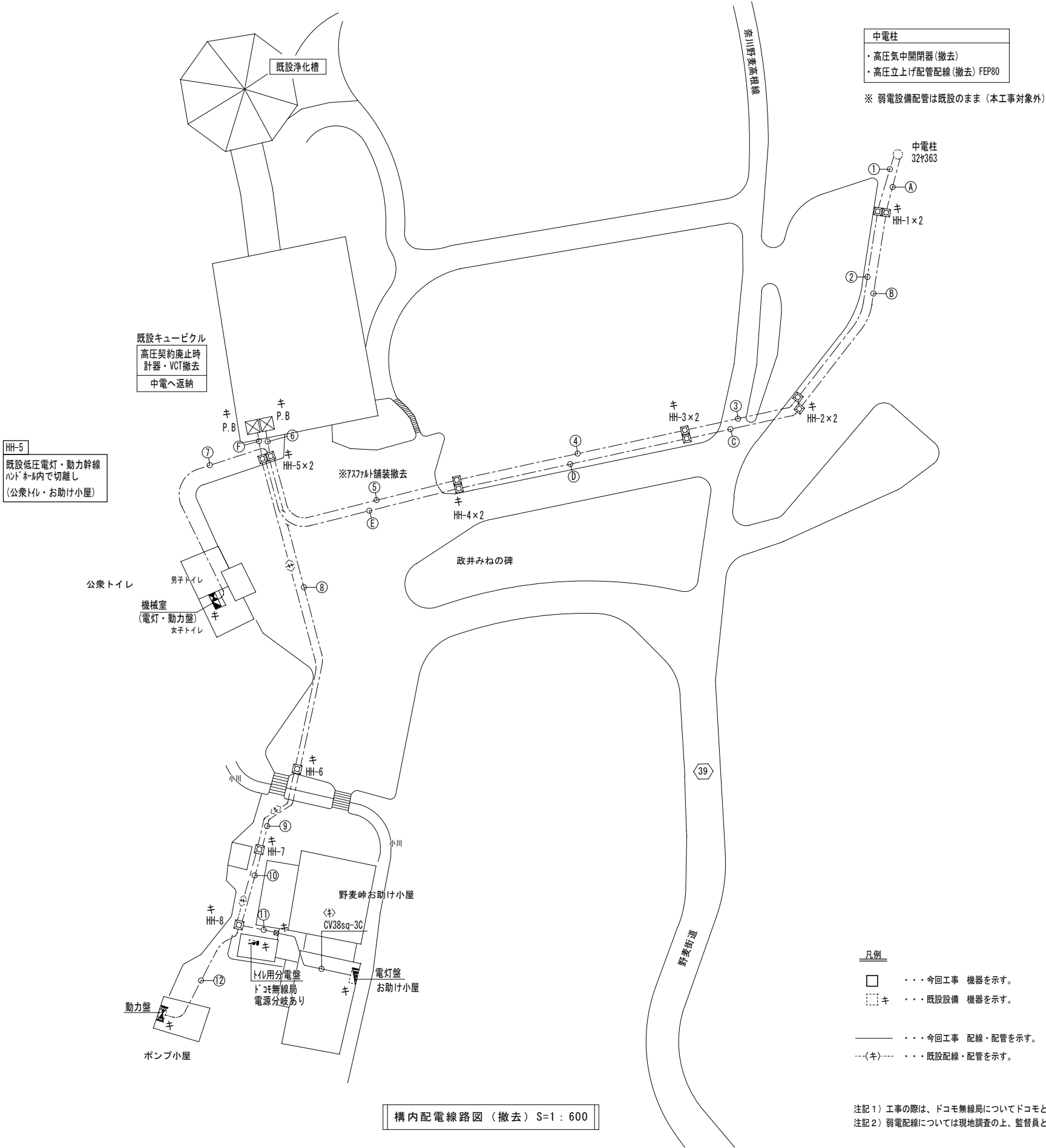
原設計図
【A2】



- 解体建築物跡地の整地は敷均し程度とする。
- アスファルト舗装t50（路盤調整共）

完成配置図 S:1 : 500

工事名	野麦峠の館解体工事		
図 名	完成配置図		
縮 尺	1/500	番号	19枚の内 05号
設 計 年 月 日	令和 8年 3月		
設 計	てらい建築設計	二級建築士 第7424号	寺井 政志
高 山 市			



中電柱
・高圧空中開閉器(撤去)
・高圧立上げ配管配線(撤去) FEP80

※ 弱電設備配管は既設のまま (本工事対象外)

- 凡例
- …… 今回工事 機器を示す。
 - キ …… 既設設備 機器を示す。
 - …… 今回工事 配線・配管を示す。
 - (キ)--- …… 既設配線・配管を示す。

注記 1) 工事の際は、ドコモ無線局についてドコモと打合せを行う事。
注記 2) 弱電配線については現地調査の上、監督員と協議するものとする

構内配電線路図 (撤去) S=1 : 600

既設配線内訳表

符号	行き先及び負荷名称	配線サイズ(EM)	配線		管種	配管		備 考
			撤去	再利用		撤去	再利用	
①	引込柱 ~ ハド'ネ-ル-1 高圧引込	6KV CVT38sq	○		PF82	○		深度 : 1,200
	引込柱 ~ ハド'ネ-ル-1 予備	—0—			PF82	○		
②	ハド'ネ-ル-1 ~ ハド'ネ-ル-2 高圧引込	6KV CVT38sq	○		FEP80	○		深度 : 1,200
	ハド'ネ-ル-1 ~ ハド'ネ-ル-2 予備	—0—			FEP80	○		
③	ハド'ネ-ル-2 ~ ハド'ネ-ル-3 高圧引込	6KV CVT38sq	○		DL125	○		深度 : 1,200
	ハド'ネ-ル-2 ~ ハド'ネ-ル-3 予備	—0—			DL125	○		
④	ハド'ネ-ル-3 ~ ハド'ネ-ル-4 高圧引込	6KV CVT38sq	○		FEP80	○		深度 : 600
	ハド'ネ-ル-3 ~ ハド'ネ-ル-4 予備	—0—			FEP80	○		
⑤	ハド'ネ-ル-4 ~ ハド'ネ-ル-5 高圧引込	6KV CVT38sq	○		FEP80	○		深度 : 600
	ハド'ネ-ル-4 ~ ハド'ネ-ル-5 予備	—0—			FEP80	○		
⑥	ハド'ネ-ル-5 ~ キュービクル	6KV CVT38sq	○		G54	○		深度 : 600
	ハド'ネ-ル-5 ~ キュービクル	—0—			G54	○		
⑦	ハド'ネ-ル-5 ~ 公衆トイレ 1φ3W 100/200V	MAZVC8sq-2C	○		—			
	ハド'ネ-ル-5 ~ 公衆トイレ 3φ3W 200V	MAZVC8sq-3C	○		—			
⑧	ハド'ネ-ル-5 ~ お助け小屋 1φ3W 100/200V	CV38sq-3C		○	FEP50	○		
	ハド'ネ-ル-5 ~ ポンプ小屋 3φ3W 200V	CV14sq-3C	○		FEP50	○		
⑨	ハド'ネ-ル-5 ~ お助け小屋 1φ3W 100/200V	CV38sq-3C	○		FEP50	○		
	ハド'ネ-ル-5 ~ ポンプ小屋 3φ3W 200V	CV14sq-3C	○		FEP50	○		
⑩	ハド'ネ-ル-5 ~ お助け小屋 1φ3W 100/200V	CV38sq-3C	○		FEP50	○		
	ハド'ネ-ル-5 ~ ポンプ小屋 3φ3W 200V	CV14sq-3C	○		FEP50	○		
⑪	ハド'ネ-ル-5 ~ お助け小屋 1φ3W 100/200V	CV38sq-3C	○		FEP50	○		
⑫	ハド'ネ-ル-5 ~ ポンプ小屋 3φ3W 200V	CV14sq-3C	○		FEP50	○		

既設配線内訳表 (弱電) ※ 既設残置 (本工事対象外)

符号	行き先及び負荷名称	配線サイズ(EM)	配線		管種	配管		備 考
			撤去	再利用		撤去	再利用	
Ⓐ	中電柱 ~ ハド'ネ-ル-1 TEL引込	—0—			PF82	○		深度 : 1,200
Ⓑ	ハド'ネ-ル-1 ~ ハド'ネ-ル-2 TEL引込	—0—			FEP30	○		深度 : 1,200
Ⓒ	ハド'ネ-ル-2 ~ ハド'ネ-ル-3 TEL引込	—0—			DL125	○		深度 : 1,200
Ⓓ	ハド'ネ-ル-3 ~ ハド'ネ-ル-4 TEL引込	—0—			FEP30	○		深度 : 600
Ⓔ	ハド'ネ-ル-4 ~ ハド'ネ-ル-5 TEL引込	—0—			FEP30	○		深度 : 600
Ⓕ	ハド'ネ-ル-5 ~ プ'肺'ガス TEL引込	—0—			G28	○		深度 : 600
	ハド'ネ-ル-5 ~ プ'肺'ガス TEL引込	—0—			G28	○		深度 : 600
	ハド'ネ-ル-5 ~ プ'肺'ガス TEL引込	—0—			G28	○		深度 : 600

工 事 名	野麦峠の館解体工事		
図 名	構内配電線路図（撤去）		
縮 尺	1/600	番号	19枚の内 06号
設 計 年 月 日	令和 8年 3月		
設 計	てらい建築設計 二級建築士 第7424号 寺井 政志		
高 山 市			

HH-5
既設低圧電灯・動力幹線
ハドール内で新規配線と接続
(公衆トイレ・お助け小屋)

- ⑥・・・埋設配管(新設)
(H.H.7抜き、止水処理)
- ⑦・・・既設配線、ハドール内で
新規配線と接続(防水処理)
(1φ3W、3φ3Wとも)
- Ⓕ・・・既設残置(工事対象外)

公衆トイレ

機械室
(電灯・動力盤)
女子トイレ

3φ3W: ELB 3P30A
1φ3W: ELB 3P40A

ELB 3P50A
動力盤

ポンプ小屋

ELB 3P50A
浄化槽制御盤
(盤取付、2次側以降は自動制御盤図による)

既設浄化槽
以降、自動制御盤図による

鋼管ポール(新設) × 7本
φ113.4 7m (茶色)
基礎根巻: φ500xH650

立上げ幹線
動力: EM-CET 14sq (VE28)

新規配線
既設配線と接続
(公衆トイレ・お助け小屋)
(1φ3W、3φ3Wとも)
(防水処理)

※7x7x7mm 鋼板
(建築)

電灯開閉器盤(新設)
動力: EM-CET 14sq (VE28)

HH-4 × 2
E3.5sq

政井みねの碑

野麦峠お助け小屋

CV38sq-3C

ELB 3P100A
電灯盤
お助け小屋

トイレ用分電盤
ドコモ無線局
電源分岐あり

構内配電線路図(改修) S=1:600

凡例

- ・・・今回工事 機器を示す。
- キ・・・既設設備 機器を示す。

————・・・今回工事 配線・配管を示す。

---(キ)---・・・既設配線・配管を示す。

注記1) 工事の際は、ドコモ無線局についてドコモと打合せを行う事。

注記2) 接地工事は、基本的に既設接地線に接続としますが、抵抗値が不足する場合は
本工事にて改修とする。

配線内訳表

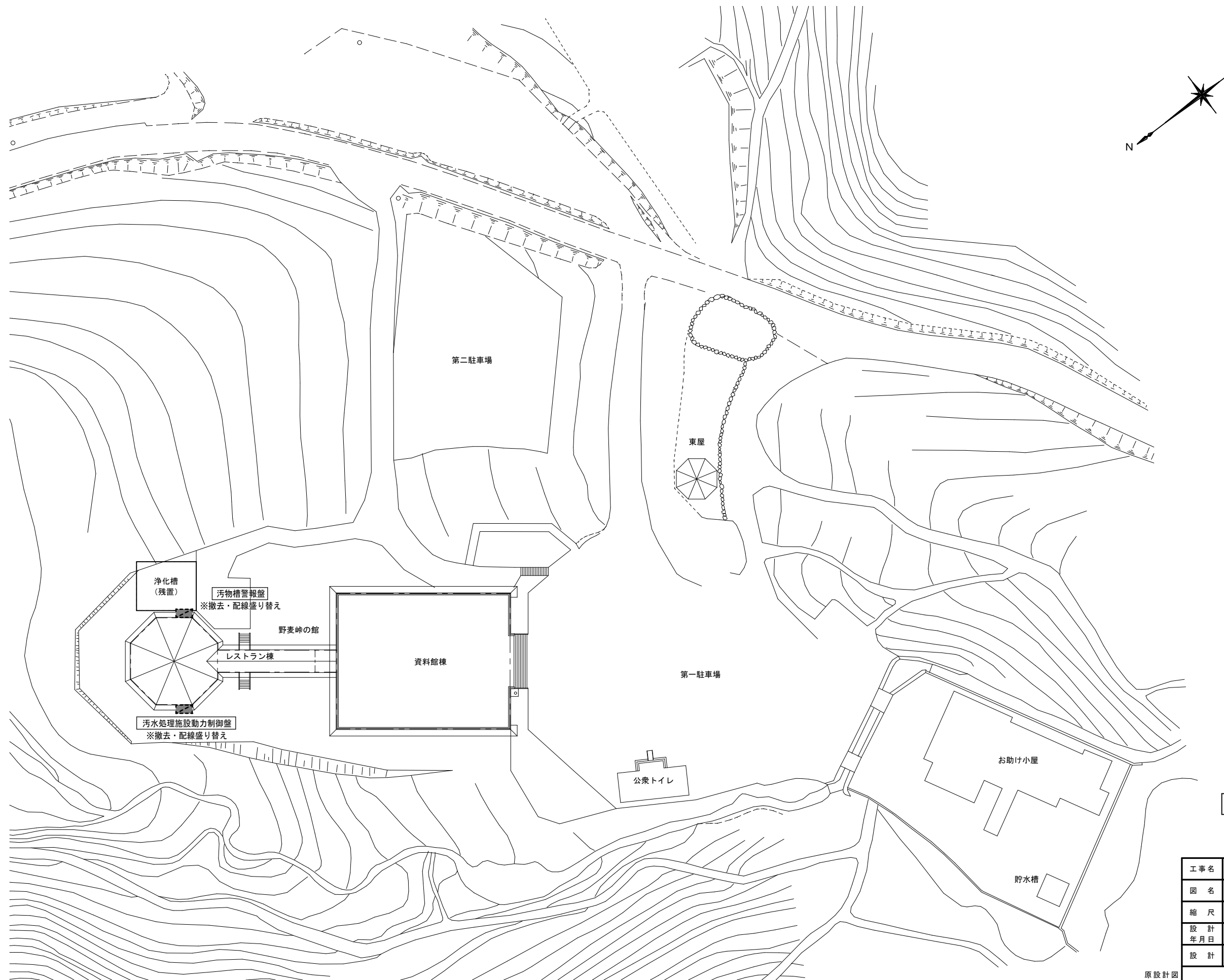
符号	行き先及び負荷名称	配線サイズ(EM)	既設管路(再利用)		新設管路		備 考
			地中(FEP)	屋外(VE)	地中(FEP)	屋外(VE)	
①	引込柱 ~ ハドール1 3φ3W 200V	EM-CET 100'			80	70	深度: 1,200
	引込柱 ~ ハドール1 1φ3W 100/200V	EM-CET 100' E14°			80	70	
②	ハドール1 ~ ハドール2 3φ3W 200V	EM-CET 100'	80				深度: 1,200
	ハドール1 ~ ハドール2 1φ3W 100/200V	EM-CET 100' E14°	80				
③	ハドール2 ~ ハドール3 3φ3W 200V	EM-CET 100'	80				深度: 1,200
	ハドール2 ~ ハドール3 1φ3W 100/200V	EM-CET 100' E14°	80				
④	ハドール3 ~ ハドール4 3φ3W 200V	EM-CET 100'	80				深度: 600
	ハドール3 ~ ハドール4 1φ3W 100/200V	EM-CET 100' E14°	80				
⑤	ハドール4 ~ 動力開閉器盤 3φ3W 200V	EM-CET 100'			80	70	深度: 600
	ハドール4 ~ 電灯開閉器盤 1φ3W 100/200V	EM-CET 100' E14°			80	70	
⑥	動力開閉器盤 ~ 公衆トイレ 3φ3W 200V	EM-CE 8'-4C	80		80		HH-5内にて 既設配線と接続
	動力開閉器盤 ~ ボンプ小屋 3φ3W 200V	EM-CE 14'-4C					
	電灯開閉器盤 ~ 公衆トイレ 1φ3W 100/200V	EM-CET 8' E3.5sq					
	電灯開閉器盤 ~ お助け小屋 1φ3W 100/200V	EM-CET 38' E3.5sq					
⑦	ハドール5 ~ 公衆トイレ 1φ3W 100/200V	MAZVC8sq-2C (既設)					
	ハドール5 ~ 公衆トイレ 3φ3W 200V	MAZVC8sq-3C (既設)					
⑧	ハドール5 ~ お助け小屋 1φ3W 100/200V	CV38sq-3C (既設)	50				
	ハドール5 ~ ボンプ小屋 3φ3W 200V	CV14sq-3C (既設)	50				↓
⑨	ハドール5 ~ お助け小屋 1φ3W 100/200V	CV38sq-3C	50				既設のまま
	ハドール5 ~ ボンプ小屋 3φ3W 200V	CV14sq-3C	50				
⑩	ハドール5 ~ お助け小屋 1φ3W 100/200V	CV38sq-3C	50				
	ハドール5 ~ ボンプ小屋 3φ3W 200V	CV14sq-3C	50				
⑪	ハドール5 ~ お助け小屋 1φ3W 100/200V	CV38sq-3C	50	42			
⑫	ハドール5 ~ ボンプ小屋 3φ3W 200V	CV14sq-3C	50	28			↓

既設配線内訳表(弱電) ※ 既設残置(本工事対象外)

符号	行き先及び負荷名称	配線サイズ(EM)	配線		管種	配管		備 考
			敷 法	再利用	埋設	敷 法	再利用	
Ⓐ	中電柱 ～ ハドール-1 TEL 引込	—C—			PF82		○	深度：1,200
Ⓑ	ハドール-1 ～ ハドール-2 TEL 引込	—C—			FEP30		○	深度：1,200
Ⓒ	ハドール-2 ～ ハドール-3 TEL 引込	—C—			DL125		○	深度：1,200
Ⓓ	ハドール-3 ～ ハドール-4 TEL 引込	—C—			FEP30		○	深度：600
Ⓔ	ハドール-4 ～ ハドール-5 TEL 引込	—C—			FEP30		○	深度：600
Ⓕ	ハドール-5 ～ プールハウス TEL 引込	—C—			G28		○	深度：600
	ハドール-5 ～ プールハウス TEL 引込	—C—			G28		○	深度：600
	ハドール-5 ～ プールハウス TEL 引込	—C—			G28		○	深度：600

工 事 名	野麦峠の館解体工事		
図 名	構内配電線路図(改修)		
縮 尺	1/600	番 号	19枚の内 07号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	てらい建築設計	二級建築士 第7424号 寺井 政志	
高 山 市			

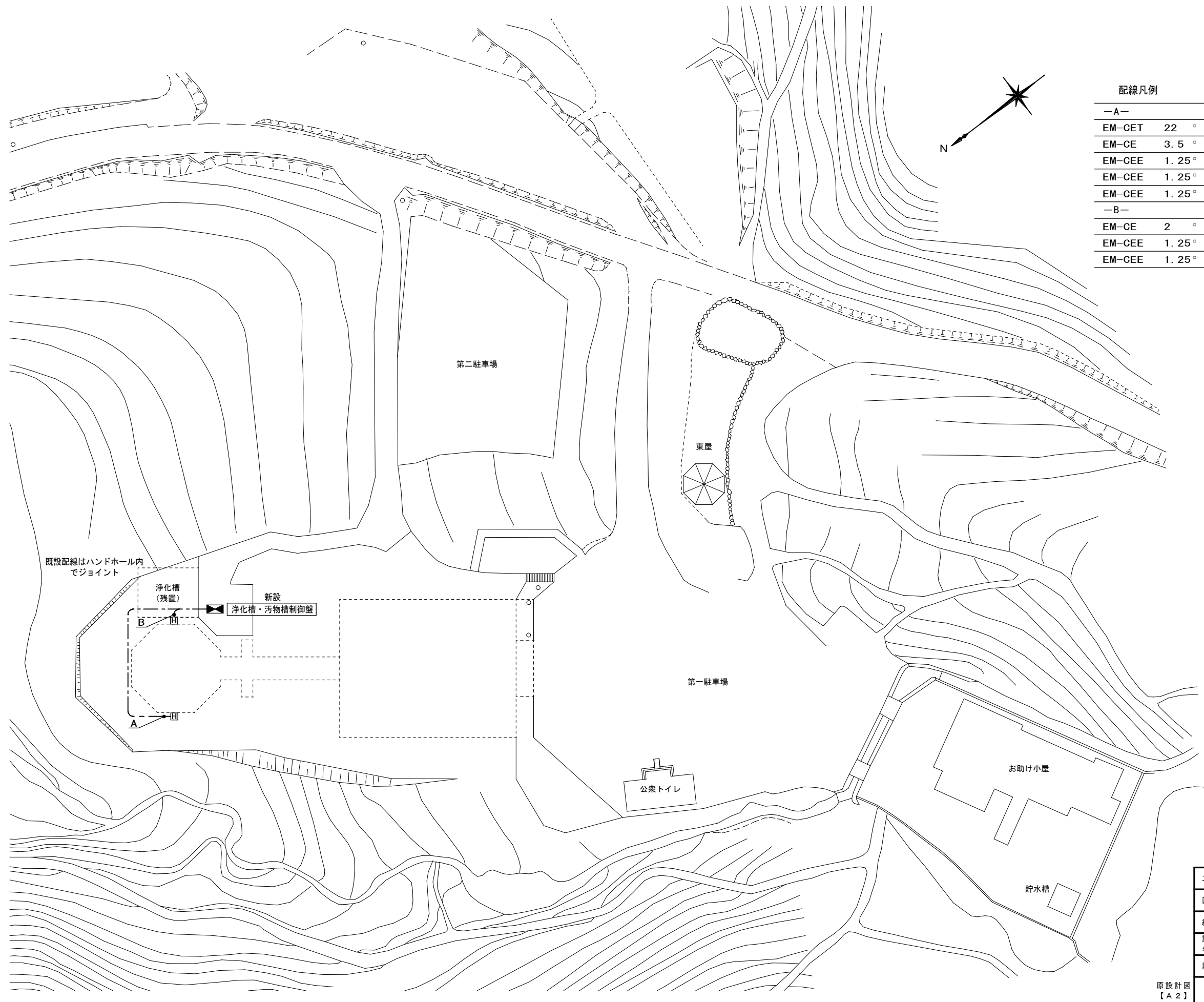
原設計図
【A2】



撤去配置図 S=1 : 500

工 事 名	野麦峠の館解体工事		
図 名	自動制御盤 撤去配置図		
縮 尺	1/500	番号	19枚の内 08号
設 計 年月日	令和 8年 3月		
設 計	てらい建築設計 二級建築士 第7424号 寺井 政志		
高 山 市			

原設計図
【A2】



配線凡例					
—A—					
EM-CET	22	□	E8		電源
EM-CE	3.5	□	4C x7	(FEP65)	ポンプ電源 x7
EM-CEE	1.25	□	4C x1	(FEP50)	信号線
EM-CEE	1.25	□	5C x1		信号線
EM-CEE	1.25	□	6C x1		信号線
—B—					
EM-CE	2	□	4C x1	(FEP50)	電源
EM-CEE	1.25	□	5C x1	(FEP50)	信号線
EM-CEE	1.25	□	6C x1		信号線

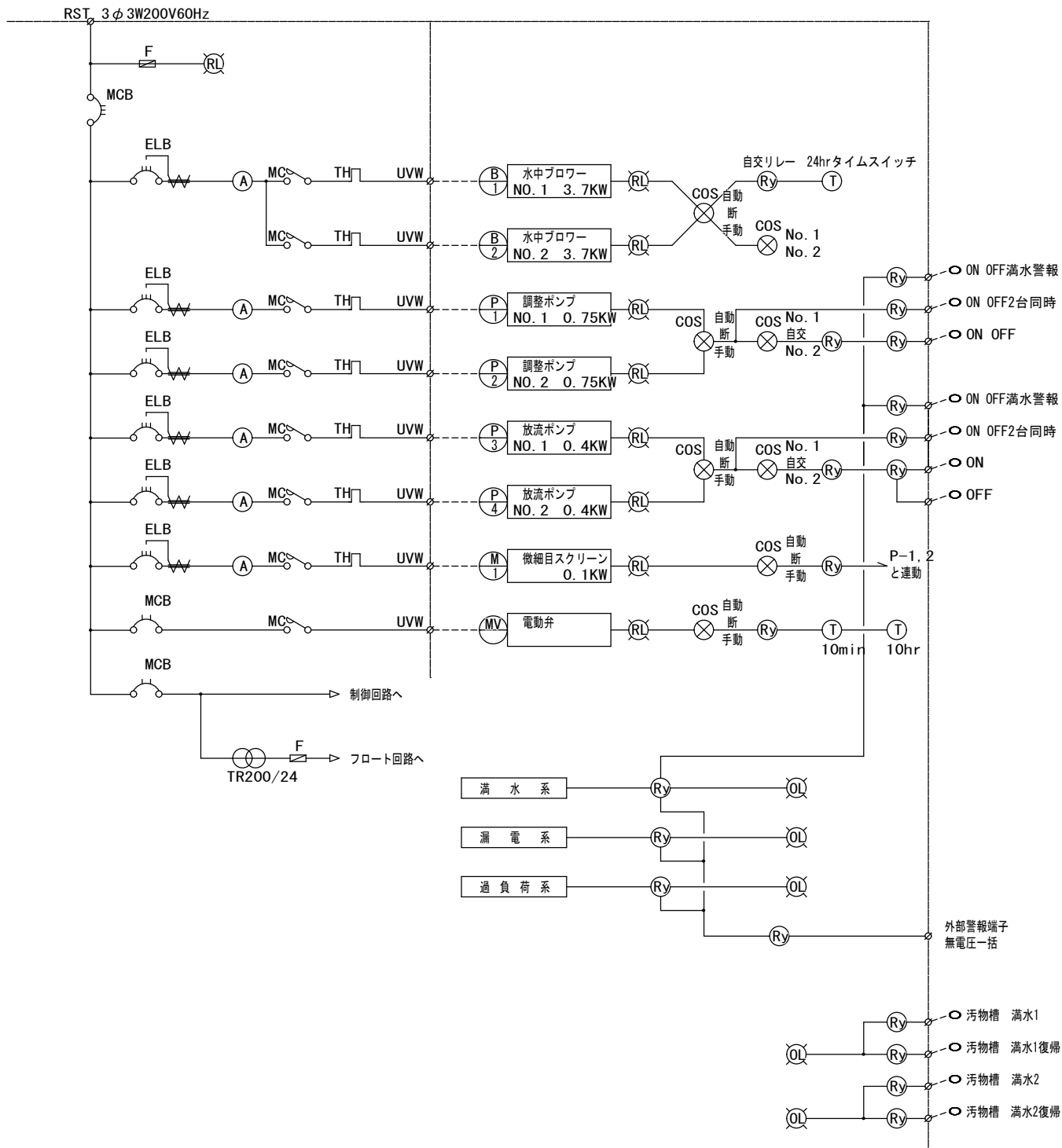
改修図 S=1 : 500

工 事 名	野麦峠の館解体工事		
図 名	自動制御盤 改修図		
縮 尺	1/500	番号	19枚の内 09号
設 計 年 月 日	令和 8年 3月		
設 計	てらい建築設計 二級建築士 第7424号 寺井 政志		
高 山 市			

原設計図
【A2】

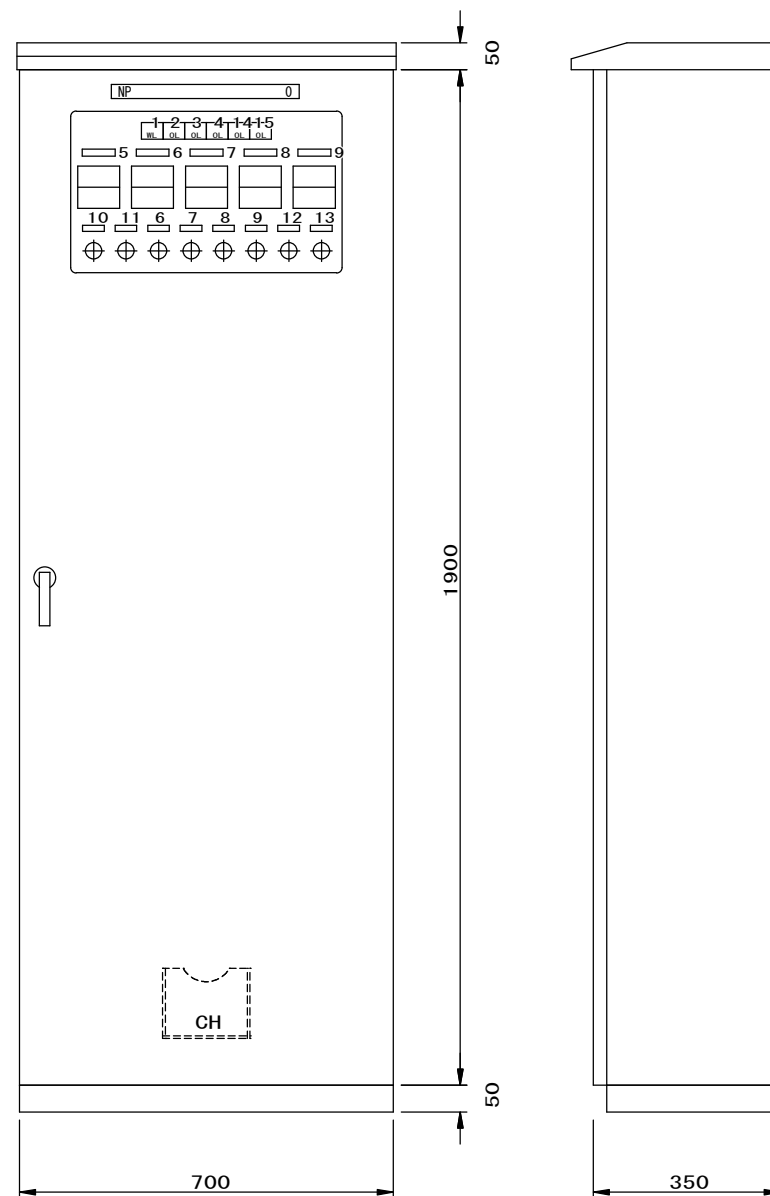
主幹単線結線図

制御回路図



動力制御盤姿図 1/10

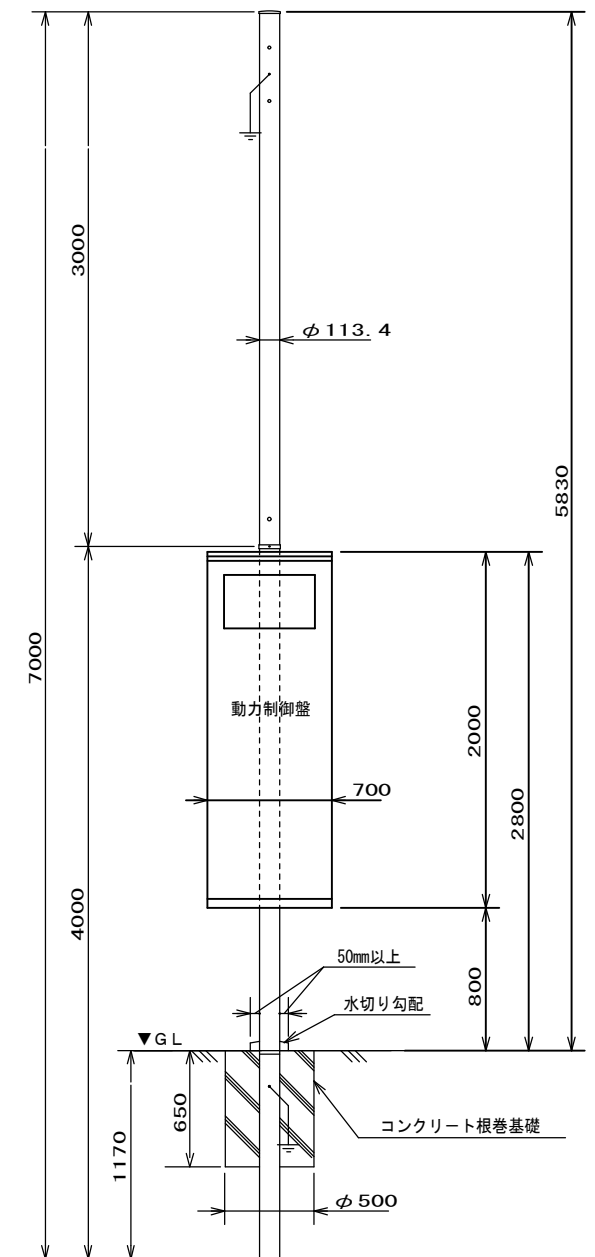
屋外防水壁掛型（盤寸法及び形状は参考とする）



N. P	銘板名称	N. P	銘板名称
0	污水处理施設警報動力制御盤	9	放流ポンプ No. 2
1	電源	10	水中ブロー No. 1
2	満水	11	水中ブロー No. 2
3	漏電	12	微細目スクリーン
4	過負荷	13	電動弁
5	水中ブロー	14	汚物槽 満水1
6	調整ポンプ No. 1	15	汚物槽 満水2
7	調整ポンプ No. 2		
8	放流ポンプ No. 1		

鋼管ポール詳細図 1/30

※動力制御盤は既設浄化槽付近の新設鋼管ポールに設置



原設計図
【A2】

工事名	野麦峠の館解体工事		
図名	自動制御盤 回路図		
縮尺	1/10・1/30	番号	19枚の内 10号
設計年月日	令和 8年 3月		
設計	てらい建築設計 二級建築士 第7424号 寺井 政志		
高 山 市			